



経済産業省「未来の教室」実証事業やEdTech導入補助金の好事例を配信するニュースレター／

# 未来の教室 通信

Standard

Vol. 19

GIGA スクール環境を活かして先生と生徒たちが EdTech を使って創る、「新しい学び方」のモデルをお届け！

Vol. 19

## 「チーム学校」×「DX」で実現する 「個別最適」な支援と学び

福山市立  
城東中学校



羽原靖明前校長 大田淳教諭

### 学校に「教室」以外の 居場所をつくる

すべての子どもたちが、毎日、笑顔で元気に登校し、学べるように——。広島県福山市教育委員会が不登校または登校していても遅刻や早退が多い不登校傾向の子どもたちの居場所(きらりルーム)を市内の小中学校に設置し始めたのは2018年度のこと。2021年現在、市内の小学校2校・中学校6校に設置されています<sup>1</sup>。

そのうちの一つ、福山市立城東中学校(以下、城東中学校)では、子どもたちの居場所(きらりルーム)として、「ふれあいルーム」(少人数で共同生活する部屋)と「チャレンジルーム」(それぞれが自分のペースで学習をする部屋)の2種類の部屋を用意しています。城東中学校では、書類での手続きをしなくても、生徒が「しんどい」と感じたら、自由にきらりルームに行くことができます。来る時間と帰る時間、きらりルームで何をするかすべて生徒が自分



城東中学校きらりルームで学ぶ生徒の様子

で決めることができます。

城東中学校は、2019年度以降、経済産業省の「未来の教室」実証事業の実証校にも採択され、不登校、不登校傾向の生徒たちに個別最適な支援と学びを届けるために取り組みを続けてきました。2021年度には文部科学大臣優秀教職員表彰、2020年度には広島県教育奨励賞を受賞するなど、全国的にも注目を集

めています。本稿では、取り組みをリードしてきた城東中学校の羽原前校長や、きらりルームの担任を務める大田教諭のお話を踏まえ、3年間に渡る取り組みの様子をお届けします。

### 「教室に戻す」ことが目的ではない

羽原前校長は、きらりルームを設置し、同校の長期欠席者数は約30名から約20名へと減少したと語ります。しかし、羽原前校長はきらりルームの目標を教室復帰においていません。

「担任は教室に戻したいという気持ちがあり、城東中でも当初は『教室復帰』を目標にしていました。もちろん、本人が戻りたいと思っているならそれでいいのですが、そうでない生徒もいます。きらりルームを設置し、生徒たちの本音が見えたり、変化を感じたりする中で、教室に戻すこと



城東中学校きらりルームの様子

<sup>1</sup> 福山市教育委員会は、2018年度(平成30年度)から、欠席者数の多い6つの中学校(東、城南、城東、中央、誠之、神辺)の校内に新たな居場所として「きらりルーム」を設置。自分のペースでの学習や、スポーツや制作活動などが可能に。(http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/kyoiku/121944.html)

が必ずしも最善ではないと感じるようになりました。例えば、生徒から『クラスの子が呼びに来てくれるのは嬉しいけど苦痛』と聞き、「今まで良かれと思ってやっていたことが、生徒のしんどさを増やしていたのだ」と気付きました。そこで思い切って『教室復帰』を目標から外し、今は、『きりりルーム』を『自分を  
知って、学校生活のことや  
生き方について考えること



外部講師による研修の様子

ができる場』として位置づけています。」  
(羽原前校長)

きりりルームの目標から「教室復帰」を外した当初は、きりりルームが人気になって教室から子どもが減ってしまったらどうするのかという声もあったようです。しかし、外部講師による研修を受け、実際に取り組みを進める中で、子どもたちの本音を聞いたり、子どもたちの変化の様子が見えるようになったりすることで、先生方は自然と「教室復帰」を目標としないことに馴染んでいきました。また、きりりルームの生徒に接する場面以外でも、トラブルが起こったとき、頭ごなしに怒ったり、教員

側の価値観を押し付けたりするのではなく、生徒の話聞くように変化したと羽原前校長は語ります。実証事業でのアンケートでは「どの層にどのような支援を行えばより効果が上がるのかなどについて考えていくと、一斉授業から個別最適な学習への転換の必要性を一層感じた」という先生方の感想も見られました。

現在の「きりりルーム」に通う生徒の目標は、「自分を知ること」と「困ったときに誰かに相談ができること」。自分を知るのは簡単なことではありません。精神的不安定さを抱える生徒たちは、自分の得意・不得意はもちろん、「今、何に困っている

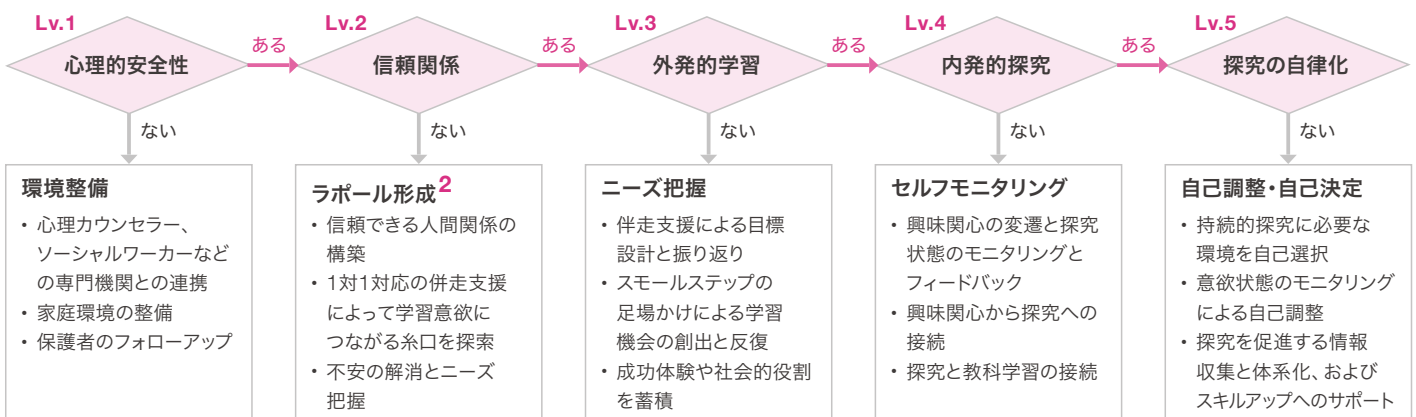
のか」にも気付いていないことが多いといいます。大田教諭は、生徒たちに「こういうことが得意だね」「これが苦手だったけど、ここまでできるようになったね」などと声かけをし、生徒自身が自分を客観視できるよう支援しています。1年程根気よく伴走することで「自分を知り、困ったときに誰かに相談できるようになる」状態に変化し始めた生徒もいるといいます。

『きりりルーム』から高校に進学した生徒たちは、さまざまな課題を抱えながらも今のところ高校生活を続けることができている。『きりりルーム』で少しでも自分の生き方について考え、選択することができたのなら嬉しいことだと感じています。」  
(大田教諭)

### 「生徒カルテ」による「チーム学校」の実現

城東中学校では、株式会社学研プラスや株式会社SPACEの協力のもと、支援の方法論を5段階のステップにモデル化しました(下図)。認知科学の専門家でもあ

### 城東中学校における段階的な支援モデル<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 出典：学研プラス・SPACE「オンラインでの探究学習による不登校傾向のある生徒の学習支援」(2020年度「未来の教室」実証事業)成果報告書

<sup>2</sup> 信頼できる人間関係



る株式会社SPACEの福本さんは、学習フェーズに進む前に、**(1)心理的安全性の構築、(2)信頼関係(ラポール)の確保**を行うことが必要であると指摘します。その上で、学習フェーズでは、**(3)与えられた課題やテーマに沿った学び(外発的学習)**から始め、徐々に**(4)自ら興味があることを探究(内発的探究)する学びにトライし、最終的に、(5)自律的に自らの興味関心を深めていくこと(探究の自律化)**へと移行できると福本さんは指摘します。

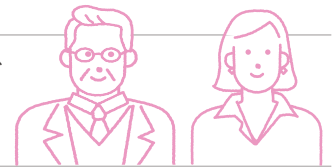
城東中学校では、どの生徒を支援するときも5つのステップを念頭においています。しかし、生徒一人ひとりが抱えている具体的な課題はそれぞれ異なり、課題の所在は保護者を含む家庭にもあるのが現状です。そこで、**課題に応じた支援の方針を10種類に整理しました。また、生徒・家庭の状況の見取りや、行った手立ての情報**を蓄積・共有できる「**生徒カルテ**」のようなシステム(SAOS: Support Assessment Operation System)を開発しました。SAOSを導入することで、日々支援しながらデータを蓄積することができ、また各生徒をどのように支援すればよいかといった具体的な情報が教員個人で閉じることなく、学校内で共有することができます。▶詳細はP8

城東中学校では、**担任が集まる「学年会」や、生徒指導担当や学年主任が集まる「学びづくり委員会」で、週1回、蓄積された情報を見ながら生徒カルテを更新す**



### 城東中で整理した10種類の支援方針

支援	支援内容
① 経済的支援	行政機関や福祉関係と連携し、保護者とコミュニケーション
② 精神的支援	スクールカウンセラー(SC)との面談をはじめ、行政機関や民生児童委員、医療関係などと連携し、保護者への精神的ケアを実施
③ 自立支援/ 生活習慣支援	スクールソーシャルワーカー(SSW)や民生委員等と連携し、保護者の生活習慣の立て直しや社会的自立を目指し、継続的にコミュニケーション
④ 自立支援	必要に応じてSSWや訪問支援を行う機関などと連携し、将来を見据えて進学や進路についての多様な道筋を示す
⑤ 生活習慣支援	睡眠や食事に対するケアをしつつ、生活サイクルの立て直し
⑥ 専門的精神支援	SCのアドバイスをもとに、保護者と連携しながら継続的にサポート(状況によっては医療関係とも連携)
⑦ 日常的精神支援	養護教諭をはじめ、SCや支援員、大学生メンターなどとの連携により、日常生活のなかで起こりうるさまざまな悩みのサポート
⑧ 生活学習支援	「計画を立てて実行する」「買い物の計算をする」など、衣食住にかかわるライフスキルを磨きつつ、基礎学力の向上も図る
⑨ 探究学習支援	大学生メンターがコミュニケーションを取り、興味関心領域を掘り起こしつつ、好きなことを自身のやり方で探究し、意欲向上を目指す
⑩ 教科学習支援	認知特性などを把握したうえで、クラスの授業に参加できない生徒や、個別学習・自主学習を行う生徒をサポート



る体制を構築することで、学校ぐるみで生徒の支援に取り組んでいます。

教員だけで解決できる問題ばかりではないことから、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)など**外部の専門家とも連携し、生徒や保護者をサポート**しています。また、地域の大学と連携し、生徒に近い存在として、**生徒を見守りつつ伴走できる大学生メンター**も重要な存在になっています。

SCやSSW、大学生メンターが子どもたちと関わったときもSAOSに情報は蓄積され、またSCやSSW、大学生メンターにとってもSAOSは支援の質を高めるために重要な情報を提供してくれます。このように、**SAOSというデジタルプラットフォームによって、外部の専門家や大学生メンターを含む関係者がつながり、「チーム学校」による個別最適な支援が実現**されているのです。

「きらりルームにも登校してくれない生徒にアウトリーチするためには、学校だけ



(右上)(左下)広島大学の大学生メンターと学ぶ城東中学校の生徒の様子

では限界があります。担任は授業があるときには家庭訪問できず、放課後も授業準備などがあるので家庭訪問する頻度にも限界があります。また、担任が訪問すると『何か言われるのではないかと』感じ、話をしてくれない家庭もあります。こういった状況を踏まえると、これからは**SCやSSWといった専門家、さらには地域のNPO法人や支援団体などとも連携しなければならぬ**と感じています。こうして**生徒や保護者と『話をする』ことができる**

ようになると、様々な支援をスタートすることができます。」(羽原前校長)

### 認知特性のアセスメント<sup>1</sup>を土台に、生徒と周りの大人が対話

生徒たちに個別最適な支援をすることを目指し、生徒のことを理解するためのアセスメントを実施しました。測定した項目は、「認知スタイル・学習スタイル」「興味関心領域」「学習意欲・勉強観」など、多岐に渡ります。

不登校傾向の子どもたちにはどのような特徴があるのでしょうか。実証事業では、通常学級に通っている生徒と不登校傾向の生徒を対象にアセスメントを実施し、両者を比較しました<sup>2</sup>。アセスメントを開発・分析した株式会社SPACEの福本さんは、「通常学級に通っている生徒と不登校傾向にある生徒とでは、明らかに認知特性に違いが見られました。」とアセスメント結果を語ります。

情報を受け取る方法(インプット)に関連する認知特性を測定するため、新しいことを学ぶ際に、自分に合う方法として「視覚」「聴覚」「体感覚」のいずれかを選んでもらったところ、不登校傾向のある生徒たちは、「聴覚」の割合が少なく、「視覚」

### 「デジタルプラットフォームによって、「チーム学校」による個別最適な支援が実現されているのです。

「体感覚」が多いことが見えてきました。つまり、不登校傾向のある生徒には、「話を聴いて理解する」という授業のスタイルよりも、「見て学ぶ」「身体を動かしながら学ぶ」ほうが得意だと認識している生徒が多かったのです。

表現方法(アウトプット)にも差が見られました。「読む」「書く」「話す」「描く」から自分に合った方法を選んでもらったところ、通常学級に登校している生徒は「読んだものを引用して自分の考えを伝える」を選んだ割合が多かったのに対し、不登校傾向のある生徒では0%でした。一方、不登校傾向のある生徒では「話す」「描く」の割合が多い結果となりました。

「不登校となる原因はさまざまで一概には言えませんが、文字で情報を受け取ったり、表現したりすることにしんどさを感じていることが影響しているのではないのでしょうか。黒板の文字を見て、先生の話聴くという従来の学校の授業スタイルだと、不登校傾向のある生徒は自身の認知特性を活かす場所が少なく、『なじめない』

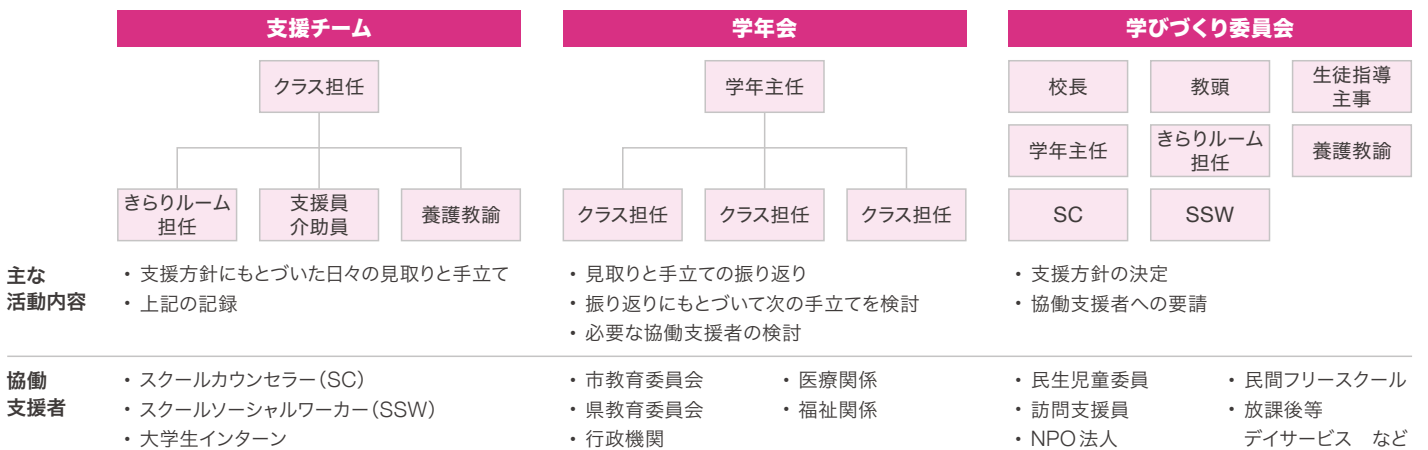
という感覚を持つ可能性があります。」(福本さん)

こうした認知特性を含め、生徒一人ひとりの学びの「クセ」を可視化することで、生徒は自分を捉える視点を増やすことができ、教員は生徒を見取る視点を増やすことができるようになりました。また、アセスメントは、生徒が周りの大人と自分らしい学びを進めていくための対話を行うためのきっかけにもなりました。

大田教諭はアセスメントを通じ、データの重要性に気付いたと語ります。「これまで教員は経験則で感覚的に生徒の特性を捉えて支援していましたが、経験には差がありますし、感覚にも個人差があります。改めてデータとして見ると、気付くことが多くありました。」(大田教諭)

また、福本さんは、アセスメントは生徒が自分のことを周りの大人に伝えるための助けになったと語ります。「生徒が自分の特性や得意・不得意を自分の言葉で説明するのは難しいことです。しかし、アセスメントがあることで、自分の特性、得意・

### SAOSを基盤とした「チーム学校」による個別最適な支援体制

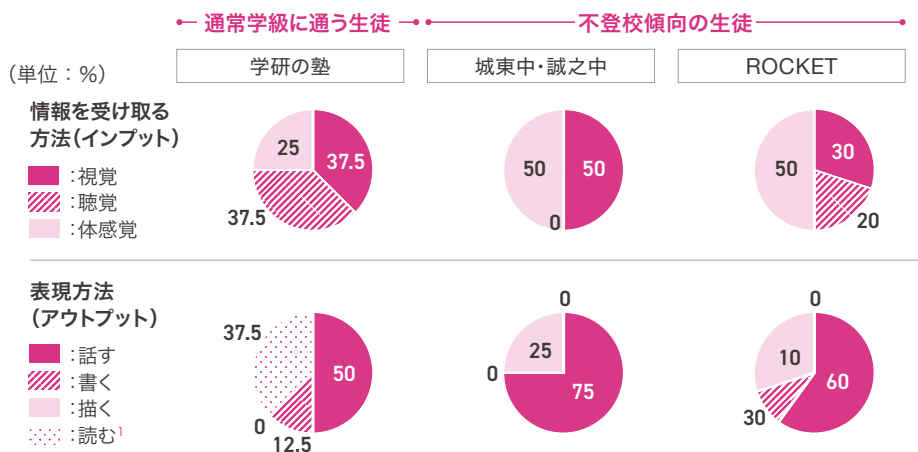


1 自分を形作る認知特性や興味関心などの指向性を把握するための分析

2 対象者は、通常学級に通っている生徒(学研の塾に通っている生徒)、不登校傾向にある生徒(城東中学校・福山市立誠之中学校(以下、誠之中学校)の生徒、及び東京大学先端技術研究センター異才発掘プロジェクトROCKETの参加者)

### 3つの対象群に分けた「情報の入力・出力」についてのアンケート結果

通常学級に通う生徒と不登校傾向のある生徒とでは認知特性に差が見られた



不登校傾向の生徒は、「話を聴いて理解する」授業スタイルより「見て学ぶ」「身体を動かしながら学ぶ」ほうが得意だと認識している生徒が多かったのです。

不得意を先生や親と共有できるようになります。そうすると、生徒はできていないことがあったとき、一方的に叱られるのではなく、原因や対処について対話ができるようになりました。これは生徒の自己肯定感の向上にもつながったのではないのでしょうか。(福本さん) ▶詳細はP9

また、生徒との対話を繰り返しながら、教員も変化したと大田教諭は語ります。「事象のみを見るのではなく、その背景にあるものを見ようとする傾向が強くなりました。たとえば提出物を締め切りまでに提出しない生徒がいたとき、単に『いつまでに出しなさい』と注意するのではなく、『できないのか、やらないのか』『やらないとすれば、それは何故なのか』を考えるようになりました。」(大田教諭)

### 探究学習プログラムによって興味・関心が開花

「集荷のルートはどうしよう。荷物の順番と、道を確認しないと。」

「仏壇はどうやって運ぶ?」

グループに分かれた生徒たちが、地図と集荷リストを広げながら真剣な表情で話し合います。これは、きりりルームの子どもたちが参加した探究学習プログラムの1コマ。地元企業の福山通運の協力を得て、2日間にわたるワークショップを実施しました。生徒たちのミッションは、「3時間で100個の荷物を運べ!」というもの。荷物の梱包方法、集荷から配送までのロジスティクスなど運送業界の最先端技術について教えてもらったのち、台車を使って福山市内の商店をまわって集荷にチャレンジしました。普段はなかなか教室に出て来られない生徒も、自ら支度をし、時間に間に合うように参加したといいます。結果、3時間7分ですべての荷物を集めることに成功。達成感に生徒たちの笑顔がこぼれました。

「ワークショップでは、生徒たちが自ら段取りを考えたり、チームで物事を進めたりするときに素晴らしい能力を発揮するという新たな一面を発見できました。生徒たちも『私はこういうことが得意なんだ』

と気付くことができ、自信にもつながりました。」(羽原前校長)

「集団が苦手なつまづいていた生徒が、このプログラムには積極的に取り組んでいました。この体験をきっかけにして『自分で計画した学習をやりきる』『自分で調べてまとめる』ことができるようになったので、生徒に合った環境を用意できれば学びは進んでいくのだと実感しました。」(大田教諭)

ワークショップ後、生徒はそれぞれ興味を持った部分を深掘りしていきました。ワークショップにはさまざまな視点が入っており、興味を持ったポイントを拾って「マイ・プロジェクト化」していくという設計です。生徒一人ひとりが興味を深める場面では、広島大学の学生メンターが入ってサポートしました。たとえば、美容に興味のある生徒は、化粧品などの梱包や海外への配送方法について詳しく調べるなど、学習MAP(学習した内容や興味を引かれることについて、中心となるテーマから自由に分岐させて描写した図)にまとめていきました。さらに、今回のワークショップから離れて、興味のある事柄について自主的にレポートを作成し、問いを深める生徒もいました。レポートを作成した生徒は、探究学習がきっかけとなり、「自分で計画した学習をやりきる」「自分で調べてまとめる」ことを積極的に行うようになりました。

「『自分の知りたいことをどんどん学んでいいんだ』というのは一つの大きな気づきだったと思います。実際、自分が知りたい・解きたいと思ったことについては、没頭して学んでいる姿が見られました。」(福本さん)

### オンライン探究学習で「自分で選ぶ・決める」体験を積む

実地での探究学習に加え、専門家と共

1 読んだものを引用して伝える



に学ぶオンライン探究学習や好きなときに学べる動画コンテンツも学びの選択肢として用意しました。

例えば、「ダンボールカーを走らせよ」というライブ授業では、クラシックカー整備士の堀井剛氏を講師に招き、車の仕組みを教えてもらった上で、ダンボールなど身近な素材で車を作り、まっすぐ走らせることに挑戦しました。制作の過程では、坂の勾配や円の中心を求めるため数学的な知識の応用が必要になります。必要な材料は自宅に届きますが、作り方はどこにも書いてありません。ライブ授業終了後もきりりルームで試行錯誤を続け、まっすぐ走るダンボールカーを完成させた生徒もいました。

また、「宇宙食を解剖して食せ!」では、JAXA宇宙教育リーダーの和田直樹氏を講師として招き、宇宙食と普通の食品を食べ比べ、地球環境と宇宙環境での暮らしの違いや、食品の加工技術について学びました。また、身近にある食材をもとに新しい宇宙食を開発する活動を通じ、宇宙空間での生命維持に必要な要素を考えました。

専門家と学ぶ探究学習で、生徒たちは試行錯誤する楽しさを感じたようです。動



オンライン探究学習「ダンボールカーを走らせよ」の様子と授業プリント

生徒たちも「私はこういうことが得意なんだ」と気付くことができ、自信にもつながりました。



(右上)(右下)福山市の商店街で探究学習に取り組む様子

画での探究学習は、「炭を焼く『炭がま』を作れ!」「古い車をピカピカの新車にしよう」など、複数のテーマを用意し、それぞれの生徒の興味関心に合うものを選択して視聴できるようにしました。各生徒は、動画を通じて探究学習のやり方も学ぶことができます。

動画視聴・ライブ授業ともに生徒たちは「楽しい」「続けたい」とポジティブな感想を持ちましたが、その背景には「探究学習のオーナーシップ」があるのではと福本さんは語ります。「学習後のアンケートでは、『自分のペースでできる』『たくさんの中から好きなものが選べる』」点に生徒は魅力を感じていることがわかりました。心理的安全性を確保した後、生徒たちが自律的に探究学習を進められるようになるには、自分で選択・調整・決定をする機会が重要であると考えます。(福本さん)

城東中学校の探究学習は一過性のもので終わることなく、学校独自の取り組みとして、その後も形を変えながらきりりルームの日常として根付いています。

「福山通運と実施した探究学習は、生徒の変化も大きく、素晴らしいプログラムでした。しかし、正直にいうと実施した直

後は『これを学校でやるのは無理だ』と感じました。しかし、生徒の変化をみて、ここまで本格的なものではなくても本質的に似た活動を学校として企画することはできないかという意識に変わっていきまし

た。」(羽原前校長)  
「実証事業をやってみて、大規模な探究は難しい生徒も結構いたと感じました。そこで、さまざまな教科の先生に聞きながらミニ探究の一覧を作りました。例えば、『虹を作って撮影してみよう』といったテーマを実施したことがあります。」(大田教諭)

城東中学校では、生徒一人ひとりに寄り添った支援と、探究学習を含む多様な学びの環境を整えることで、これからも不登校傾向の生徒たちが「自分の生き方について考え、選択する」ことができるよう取り組みを続けていきます。





おにぎりを比較してみよう！

宇宙おにぎり      地球おにぎり

算さ

原材料

調理方法

味・食感

値段



オンライン探究学習「宇宙食を解剖して食せ」の様子と授業プリント

同テーマ  
過去記事は  
こちら



記事で紹介した実証事業の詳細はこちら

2019年度

2020年度

2021年度



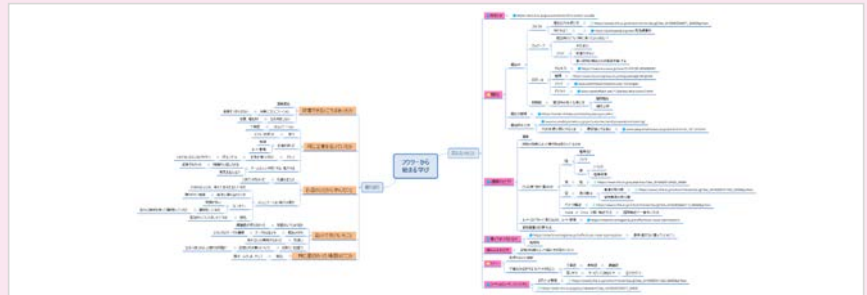
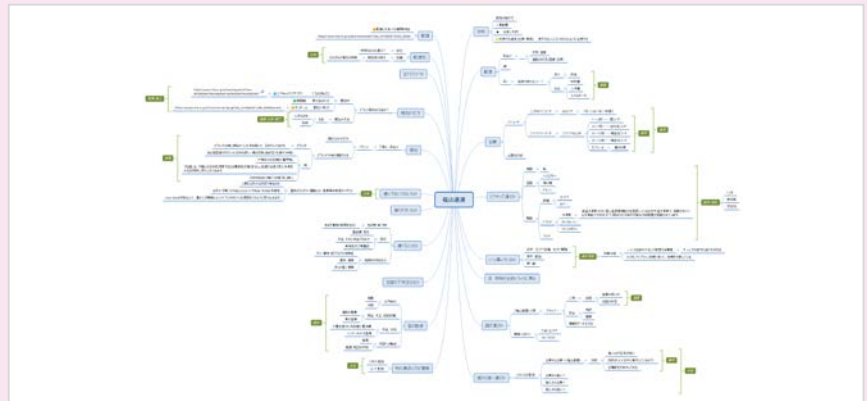
事業者名：株式会社学研プラス

公式サイト：<https://gakken-plus.co.jp/>

事業者名：株式会社 SPACE

公式サイト：<https://space-inc.jp/>

### 福山通運のワークショップを振り返りながら作成した「学習 MAP」



### 生徒が自主的に作成したレポート

目次

1. ASTRO を調べようと思った理由
2. ASTRO の基本的情報調べた内容
3. 考察&自分の感想や思い
4. 参考文献

- 1 -

ASTRO を調べようと思った理由

まず私は、韓国が大好きなんです！  
私がASTRO を調べようと思ったのは、私が観ていたある韓国ドラマがきっかけなんです。  
「私の ID は江南美人」というドラマをご存じでしょうか？あらすじをざっくり説明すると、昔から容姿について罵倒にされていた女の子「カン・ミレ」は、大学入学前に整形手術をして新しい人生を手に入れました。ですがミレが大学入学後における生活は想像とは違い、とても素敵なものでした。「真の美しさ」とはなにか？このドラマは韓国のリアルな整形事情をうまく表現し、真の美しさを探していく、成長・恋愛ドラマとなっています！  
そんな素敵なドラマの重要な人物として登場していたのが、ASTRO のメンバーの1人である、チャ・ウヌだったんです！まず、ウヌの恐ろしいほど美しいビジュアルに衝撃を受け、ウヌだけにはまりましたが、



## Vol. 19 | 福山市立城東中学校 (広島県)

広島県福山市に1956年に創立された公立中学校。生徒数は400名超。2018年より「きらりルーム」を設置し、不登校傾向のある生徒への支援を積極的に行っている。令和3年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞。2021年広島県教育奨励賞受賞。

1人1台端末と様々な EdTech を活用した新しい学び方はこちら



未来の教室ってなに？ 経済産業省の有識者会議「『未来の教室』とEdTech研究会」では、新しい学習指導要領にもとづき2020年代に実現したい「今を前提にしない学びの姿」を、「未来の教室ビジョン」にまとめました。その議論の内容は、ウェブサイト「『未来の教室』の目指す姿」をご覧ください。



「未来の教室」通信

発行：経済産業省 商務・サービスグループサービス政策課 教育産業室 Tel: 03-3580-3922

Facebook: <https://www.facebook.com/METI.learninginnovation/>

公式サイト: <https://www.learning-innovation.go.jp/>

未来の教室 検索

記事の  
定期配信は  
こちら



# SAOS(Support Assessment Operation System)の3つのポイント



## SAOSの生徒一覧画面

各生徒への支援方針や緊急性を一覧で見ることができる

### 生徒一覧 + 新規追加

ID	名前 ↓	学年	性別	支援方針・緊急性	最終更新	
(64)	AB			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	10日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(36)	テスト	中学1年生	女	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	29日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(58)	A			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(62)	AA			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(47)	B			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(60)	C			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(39)	★ Point1			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(46)	特に支援が必要な生徒を 教員が登録可能。 一覧で見ることができる			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 高い	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️
(42)	F			①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ / 中間	28日前	📄 📄 ✎ 🗑️

★ Point2  
それぞれの生徒の支援方針と  
その優先順位、支援の緊急性が  
可視化されている

## 各生徒の詳細画面

過去の支援結果が履歴として蓄積され、振り返りに役立つ



#### カルテ1

全期間の累積を表示

2021年12月2日 11:38:00 佐久裕昭

2021年12月1日 19:55:00

2021年11月25日 14:17:00

2021年11月18日 19:12:00

#### カルテ2

全期間の累積を表示

2021年11月25日 14:19:00

2021年11月11日 16:34:00

★ Point3  
日々の見取りと手立ての記録が、  
それを記録した人と日付とともに蓄積される。  
そのため、支援の履歴や傾向が振り返りやすい

役職 その他	対応場所(複数回答可) ふれあいルーム
次は、現象と手立ての記録です。記録する項目を選択して下さい。 生徒間のトラブルや家庭の問題など、生徒と保護者の環境について	生徒の環境の見取り結果を記録に残して下さい。(複数回答可) 家庭での問題があった
保護者の環境の見取り結果を記録に残して下さい。(複数回答可) 生徒と保護者の関係が悪い、家庭内暴力がある	生徒または保護者の環境について行った手立ての記録を残して下さい。(複数回答可) 家庭での問題に対して保護者にアドバイス、介入を行った、インフォームドコンセント伝達、保護者とのラポール形成、インテークとして生育歴や家庭内の状況についてヒアリング、家族システムの見立て。



# アセスメント結果をまとめたシート

生徒一人ひとりの「認知特性の優位性」「興味関心」などをわかりやすく可視化している



### spaceQ 学びのポートフォリオ の読み方

8つの力 何の生きかたもあり、問題を解決するために使う力を示しています。自分の得意な力が発揮できているのかを知って自分の強みを生かしていきましょう。

spaceQのポートフォリオでは、自分の好きなものや得意なやり方の傾向を知ることができます。これを参考にすることで、自分らしい学び方を追究していきましょう。

**STEAM領域**  
Science 科学に関すること  
Technology 技術に関すること  
Engineering 物づくりに関すること  
Arts 社会科学や芸術に関すること  
Math 算数や数学に関すること

**思考スタイル**  
物事を進めたい時の調子がいい方を示しています。得意なやりかたを覚えて、得意なやりかたの力を活かしていきましょう。

**認知特性の優位性**  
得意なやりかたの傾向を知ることができます。自分の得意なやりかたを覚えて、得意なやりかたの力を活かしていきましょう。

**好奇心スタイル**  
高エネルギー-低エネルギー  
低エネルギー-高エネルギー

II SPACE

### spaceQ 2021/2/18

8つの力

BEFORE  
1. 英語 2. 論理・数学  
3. 音楽 4. 身体運動  
5. 空間 6. 対人  
7. 内省 8. 博物

AFTER  
1. 英語 2. 論理・数学  
3. 音楽 4. 身体運動  
5. 空間 6. 対人  
7. 内省 8. 博物

**STEAM領域**  
BEFORE  
AFTER

**認知特性の優位性**  
入力 出力  
視覚 話す  
イラストやアニメーション、動画などの目で見る情報がある理解が深まりやすいです。視覚情報を積極的に活用して学んでいくといえます。

自分の考えやイメージしていることを話して伝えることが得意です。人との会話やプレゼンテーションなどで話しながら相手に伝えていくといえます。

**思考スタイル**  
軸向 形態 水準  
立案型 単独型 巨視型  
保守型 序列型 変機型  
評価型 並列型 任意型

**学習スタイル**  
学校 動画視聴 ライブ 学校 動画視聴 ライブ

**総評**  
8つの力のうち「空間」「対人」「身体運動」が強みになりそうです。図形や立体などの情報を使った活動が得意で、他人の気持ちや感情を上手に読み取っているのが特徴です。また体を動かす活動なども取り入れるとよいでしょう。特に科学分野への興味が高い。アートや数学などにも向いているでしょう。調子がいい方としては、新しい企画を考えるのが得意なところを伸ばしていきながら、順番に進めていくことができるでしょう。学習方法は動画での学習を積極的に取り入れながら理解を深めていくとより効果的です。今は新しいことを始めるための心のエネルギーが高い状態なので、分野にとらわれずに気になることからどんどんチャレンジしていきましょう。

II SPACE

### spaceQ 2021/2/16

8つの力

BEFORE  
1. 英語 2. 論理・数学  
3. 音楽 4. 身体運動  
5. 空間 6. 対人  
7. 内省 8. 博物

AFTER  
1. 英語 2. 論理・数学  
3. 音楽 4. 身体運動  
5. 空間 6. 対人  
7. 内省 8. 博物

**STEAM領域**  
BEFORE  
AFTER

**認知特性の優位性**  
入力 出力  
視覚 話す  
イラストやアニメーション、動画などの目で見る情報がある理解が深まりやすいです。視覚情報を積極的に活用して学んでいくといえます。

自分の考えやイメージしていることを話して伝えることが得意です。人との会話やプレゼンテーションなどで話しながら相手に伝えていくといえます。

**思考スタイル**  
軸向 形態 水準  
立案型 単独型 巨視型  
保守型 序列型 変機型  
評価型 並列型 任意型

**学習スタイル**  
学校 動画視聴 ライブ 学校 動画視聴 ライブ

**総評**  
8つの力のうち「英語」「博物」「身体運動」が強みになりそうです。言葉の巧みに優っています。自然現象などを理解することを得意とします。また体を動かす活動なども取り入れるとよいでしょう。特に科学分野への興味が高い。アートや数学などにも向いているでしょう。調子がいい方としては、新しい企画を考えるのが得意なところを伸ばしていきながら、順番に進めていくことができるでしょう。学習方法は動画での学習を取り入れながら、実際に自分で試して理解を深めていくとより効果的です。今は新しいことを始めるための心のエネルギーが少し下がっている状態なので、自分の興味のある分野から小さく学びはじめていくとよいでしょう。

II SPACE

### spaceQ 2021/2/16

8つの力

BEFORE  
1. 英語 2. 論理・数学  
3. 音楽 4. 身体運動  
5. 空間 6. 対人  
7. 内省 8. 博物

AFTER  
1. 英語 2. 論理・数学  
3. 音楽 4. 身体運動  
5. 空間 6. 対人  
7. 内省 8. 博物

**STEAM領域**  
BEFORE  
AFTER

**認知特性の優位性**  
入力 出力  
視覚 話す  
イラストやアニメーション、動画などの目で見る情報がある理解が深まりやすいです。視覚情報を積極的に活用して学んでいくといえます。

自分の考えやイメージしていることを話して伝えることが得意です。人との会話やプレゼンテーションなどで話しながら相手に伝えていくといえます。

**思考スタイル**  
軸向 形態 水準  
立案型 単独型 巨視型  
保守型 序列型 変機型  
評価型 並列型 任意型

**学習スタイル**  
学校 動画視聴 ライブ 学校 動画視聴 ライブ

**総評**  
8つの力のうち「英語」「博物」「身体運動」が強みになりそうです。言葉の巧みに優っています。自然現象などを理解することを得意とします。また体を動かす活動なども取り入れるとよいでしょう。特に科学分野への興味が高い。アートや数学などにも向いているでしょう。調子がいい方としては、新しい企画を考えるのが得意なところを伸ばしていきながら、順番に進めていくことができるでしょう。学習方法は動画での学習を取り入れながら、実際に自分で試して理解を深めていくとより効果的です。今は新しいことを始めるための心のエネルギーが少し下がっている状態なので、自分の興味のある分野から小さく学びはじめていくとよいでしょう。

II SPACE